

熱き志 専大生駆ける

ニュース専修

毎月1回15日発行
(定価一部590円)
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

http://www.senshu-u.ac.jp/

主なニュース

- 10 古代東ユーラシア研シンポジウム……
- 9 野球部東都春季リーグ優勝祝賀会……
- 8 院生・飯干さん朗読で活躍/就職課から……
- 7 留学体験記/海外留学・国際交流フェア……
- 6 小宮多喜次新校友会会長インタビュー……
- 5 石巻専修大学 石巻川開き祭りに参加……



OPEN CAMPUS
9/13 SUN. 生田
10:00 ▶ 15:00
時間内入退場自由
【主なプログラム】
● 入試問題解説
● 大学紹介
● 教員・在学生による個別相談コーナー
● 保護者向け説明
● 入試制度説明
● 専大のサポート力
● 在学生企画
入学センターインフォメーション
【神田キャンパス】TEL 03-3265-6677
【生田キャンパス】TEL 044-911-0794

商店会の課題解決



長い夏休みが始まった。暑い夏、熱い志を抱いてさまざまな活動に汗している専大生も多そうだ。夏休み直前の7月25日、小田急線向ヶ丘遊園駅前の民家園通り商店会では、7人の専大生が汗をぬぐう間もなく駆け回っていた。課題解決型インターシップで、同商店会の夏祭りに参加した学生たちだ。ベテランの店主に交じり、祭りの運営を取り切った大役を担った。(4面に記事)

夏祭りの抽選会会場で接客する学生たち

防災意識高める

生田で5日連続の訓練

大地震に備え、とっさに身を守る行動を実践する防災訓練が7月6日から10日まで、5日間にわたって生田キャンパスで行われた。訓練用の緊急地震速報を合図に机の下に隠れ、頭部を守る姿勢をとるシエイクアウト訓練で、1号館と4、5号館で授業中のすべての学生・教員が対象。連日各一回、時間帯を変えながら授業終了5分前に実施され、5日間で延べ約1万6000人が参加した。

最終日にはシエイクアウト訓練に続き避難訓練も行われた。エレベーターが停止したという想定で、10号館3階で授業中の学生・教員約800人が階段を使い、10号館前の広場へ。教務課や図書課など各部署の職員が誘導し約20分で避難した。避難の様子を見守った矢野建一学長は「訓練の経験があるとなじみは、いざという時の対応が違ってくる」と防災訓練の意義を説明。中国・浙江省出身の留学生、李

雪さんと潘夢婷さん(いずれも商2)は「日本に来て初めは地震に驚いた。訓練はとても大事」とうなづいていた。この日は災害時の支援を研究する人間科学部の大矢根淳教授(災害社会学)の招きで、石巻専修

夏をスイング

♪ 生田でジャズコンサート ♪



夏の学内、ジャズで気分を盛り上げよう。スウィングジャズ研究会による昼休みミニコンサートが7月14日、生田キャンパス9号館アトリウムであった。ビッグバンドの演奏に、学生たちは昼食や試験勉強の手を休め聴き入っていた。「スフランキー」「オールオブミー」など4曲を披露。部員35人がトランペ

ットやサクソフなどの迫力ある演奏を繰り返した。同研究会の深堀海代表(経営3)は「聴いている人たちが拍手をしてもいい、楽しく演奏できた。本研究会はビッグバンドで力強い演奏が信条。夏から秋にかけて、大会や学祭などで演奏する機会が多いので、もっとたくさんの方に気軽に聴いてもらいたい」と話している。



▲ 学生たちは10号館前の広場に設けられた本部前に避難した

悲願の初出場だ。7月26日に開催された第97回全国高等学校野球選手権大会(8月6日から15日間、阪神甲子園球

専大高 甲子園初出場!



▲ 千葉大会で初優勝し学校に凱旋する専大高 高ナイン(7月26日)(同校提供)

場)千葉大会決勝戦で、本学の付属高・専修大学松戸高校(千葉県松戸市)が優勝し、春夏通じて初の甲子園出場を果たした。決勝戦で習志野高校と対戦。3点を追う七回、打者11人の猛攻で一挙7点を挙げ、見事逆転勝利し、千葉県170校の頂点に立った。専大の学生も声をからし声援を送った。

専大松戸高野球部は1959年創部。部員は専修大学野球部、準硬式野球部でも数多く活躍している。就任7年目の持丸修一監督は「専大野球部の春季リーグ優勝にあやかりたい」と決意を新たにしている。

同高出身で本学野球部の重野雄一郎選手(経営4)は「最近はおと一歩のところで優勝を逃しており、プレッシャーがあったと思うが、その壁を打ち破った後輩たちはすごい」と称賛する。甲子園で専大松戸高は、大会2日目の8月7日第1試合で、花巻東高(岩手県)と対戦、惜しくも2-4で敗れた。同じくOBで本学野球部の高橋礼投手(商2)は、「これから甲子園の常連校になってほしい」と期待する。2人とも「後輩に負けないよう、今秋のシーズンは日本一を目指す」と決意を新たにしている。(7面に記事)